

令和元年度 放課後デイサービス ばくの実 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			人数が多い時は外活動と室内活動に分けている。死角が出来ないように職員を配置している。
	②	職員の配置数は適切であるか		<input type="radio"/>		法的には配置基準は満たしているが、2対1の状態に配置できていないため職員を募集している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			玄関にスロープがない（構造上改築できない）室内に手すりを付け、できる範囲で改善している。玄関前・階段に手すりを付ける予定。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	検討中
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			社内研修年2回実施。外部研修はデイに支障がない程度での参加としている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			新版 K 式を一部の利用者で実施。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			毎月会議で案を出し合い決めている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			毎日異なる日課になるよう1か月毎に予定を立てて実施。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			長期休暇には調理実習、博物館見学等平日に行えない事を取り入れている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			毎日ミーティング時に役割・担当を確認。担当が合わない場合は配置変更をしている。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		終了後、全員揃わないため翌日のミーティング時に気づいた点を共有している。翌日のミーティングに参加できない職員には共有できるよう工夫する。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		記録は付けているがケース会議では未使用のため今後活用していく	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		相談支援事業所と連携し日数の変更等、見直しをしている	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○			
関係機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		週間予定表をもらい下校時刻の変更の確認を行っている学校もある。お迎えに遅れそうな時は必ず連絡を入れている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					該当者なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			今年度は発達心理士に依頼し、小学3年生までの発達障害の子どもを対象に助言をもらった。社内研修も講師をお願いし発達心理について研修を受けた。期間は1年の予定だったが助言が必要な児童には次年度も継続してくれる予定。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		保護者アンケートで交流の希望が少なかったため今年度の実施はしなかった。公園で健常児との交流、職員の子どもの活動機会はある。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○			

	⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	必要な保護者にはペアトレの紹介をしていく	
保護者への説明	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会、行事ではバス旅行・施設見学会・クリスマス会・ばくの子まつりなど保護者が参加出来るようにし、保護者の交流の場を設けている	
	責任等	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
㉔		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
㉕		個人情報に十分注意しているか	○			ばくの実便りなど顔写真を乗せている配布物などは保護者にも管理の徹底をお願いしている。	
㉖		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚で分かり易く理解してもらえるよう配慮している	
㉗		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		蓮田市主催やさしさいきいきフェスに毎年参加している。今年度は子どもたちの作品も販売した。	
非常時等の対応		㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
		㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練を毎月行い、毎回改善する点を検討している
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止研修へは交代で必ず毎年参加している。職員研修も年1回義務付ける	
	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在身体拘束はないが、やむを得ない場合は必ず保護者に説明の上、支援計画に記載する	
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師ではなく保護者からの依頼書で対応	
	㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			常に話し合い繰り返さないよう共有している	